

# ピアホームだより

2023. 9. 10

## 気になる事例について

### 1 心理検査をみる

Aさんは、心理検査（WAIS）を受けています。知的機能・認知機能のパターンで、言語理解、知覚統合、作動記憶、処理速度があり、特徴的に作動記憶が悪いと出ています。

ADHDの診断の背後にはそんな認知機能の問題があるのでしょうか？

日常生活において、今言ったことを忘れてしまうということが多く、また、感情のコントロールがつかず、暴力に走ってしまうといった症状があったようです。

そのような症状の中、夜明けに足がムズムズするというので、処方にアキネトンが出ております。抗コリン剤は精神

症状の発現から慢性的にも用いるべきではないとされています。

健忘が疑われるこの症状の方にはこのお薬は使わなくともよいのではないのでしょうか？アカシジアには適応外ながらインデラルも使用されています。寝起き時に転倒がありました。

クロザピンという変更しがたい薬剤治療の中での副作用対策ではありますが、本人も重大な副作用とは考えていないようなので、必要ないと考えたほうが良いのではないのでしょうか？

### 2 検査値を見る

Bさんは、典型的な統合失調症の症状を持つ方で、日常生活においても、偏った食事、大量の飲水をコントロールするのに苦労している方です。

飲水は1日5リットル以上の時もあり、体重変動も5Kg以上ありました。

先日頂いた臨床検査値では、赤血球などの値が正常値を外れ心配が増しました。数年にわたってデータをみたところ、良くはないものの、これまで外れたデータはありませんでした。

### 主治医と専門家の見立て

多分、飲水で血液が薄まっていることを表しているのではないかと？

Na値は勿論外れていますが、ほどほど一人体の恒常性の維持が働いている結果のようです。MCV、MCH、MCHCという赤血球恒数をみて貧血の種類を推定します。

どうやら当てはまらない？

食生活が悪いので栄養不良を疑ったのですが、それは、BUN値—たんぱく質の異化を示す値になりますが、かなり低い値を示しています。食事の悪さを表していることは確かと思われま

### 3 寝てばかりいるCさん

寝てばかりいるとのことで、改めて薬も調べてみました。高齢でもあり、定型抗精神病薬が残る古い処方？との印象も受けました。眠剤としてのヒルナミン、ベンザリンなど半減期も長く、翌日午前にはボーとしている利用者さんが多かったのです。主治医に報告、検討を始めています。

### 9月の予定

9月6日：虐待防止委員会